

2021年9月7日
南海電気鉄道株式会社

「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）」の提言に賛同

南海電気鉄道株式会社（社長：遠北 光彦）では、2021年9月1日、金融安定理事会（FSB）により設置された「気候関連財務情報開示タスクフォース（以下、TCFD）」※1の提言に賛同いたしました。今後その提言に基づいた情報開示を進めてまいります。また賛同を機に、賛同企業が一体となって効果的な開示を議論する場である「TCFDコンソーシアム」※2へ入会いたしました。

当社グループでは、「サステナビリティ方針」を定めるとともに、同方針のもと長期的に取り組むべき重点施策として、SDGsの視点を取り入れた7つの「サステナブル重要テーマ（マテリアリティ）」を設定し、事業活動を通じた社会課題の解決を図っています。

「選ばれる沿線」に向けて、「地域共創型のまちづくり」に取り組むことにより、社会課題の解決と「なんかいね’があふれてる」、豊かでサステナブルな社会の実現を図るとともに、当社グループの価値向上・沿線価値の向上・地域住民をはじめとするステークホルダーの幸福度の向上をめざしています。

今後もTCFDの提言に基づき、気候変動がもたらすリスクおよび機会の財務的影響などを把握し、積極的に開示していきます。

※1：「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）」とは

G20の要請を受け、2015年に金融安定理事会（FSB）が、気候関連の情報開示及び金融機関の対応をどのように行うかを検討するために設置されたものです。



※2：「TCFDコンソーシアム」とは

TCFD賛同企業が一体となって取組みを推進し、企業の効果的な情報開示や開示された情報を金融機関等の適切な投資判断に繋げるための取組みについて議論する目的で設立された組織です。



以上

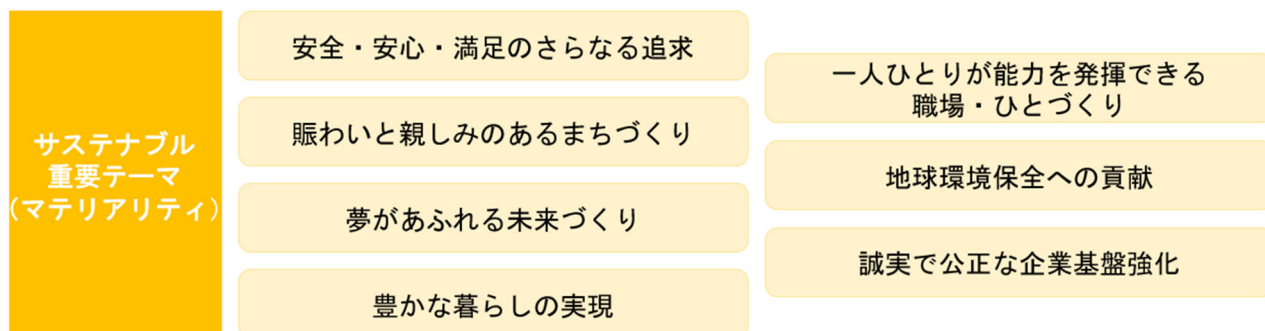
当社グループの「サステナビリティ方針」等の概要や取組みについて(ご参考)

1. サステナビリティ方針

沿線エリアを中心に、地域住民・自治体・企業等、様々なステークホルダーと共創・協働し、企業理念の実践を通じて、「持続的な企業価値の向上」と「持続可能な社会の実現」の両立をめざします。

2. サステナブル重要テーマ(マテリアリティ)

持続的な企業価値の向上と持続可能な社会の実現に向けて、7つのサステナブル重要テーマ(マテリアリティ)を定め、継続的に取組みを進めることで、事業活動を通じた社会課題の解決を図ります。



3. サステナブル重要テーマ(マテリアリティ)に基づく具体的な取組み例

安全・安心・満足のさらなる追求

①自然災害への対応

事故復旧総合訓練、水害対策、耐震補強等



地球環境保全への貢献

②省エネの推進

省エネ車両の導入
不動産施設の設備更新等



③再生可能エネルギーの活用

CO₂フリー電力による高野山ケーブルの運行
太陽光発電施設の設置等



④環境配慮型建物(グリーンビルディング)の拡大

新規開発物件における環境認証の取得等



⑤生物多様性の保全

沿線エリアでのビオトープ活動の拡充等



サステナビリティ方針及びサステナブル重要テーマ(マテリアリティ)の詳細は、当社WEBサイトをご覧ください。

⇒<http://www.nankai.co.jp/company/csr/sustainability.html>